

【1級免除科目】

①前回（第36回）の試験で科目合格（筆記試験は70点以上、面接は合格）した方は、今回（第37回）の試験でその科目を免除します。

②旧科目体系で施行された前々回（第35回）の試験で、科目合格（筆記試験は70点以上、面接は合格）した方は、新科目体系の一部の科目で免除措置があります。

パターン	第35回試験（平成20年2月20日実施済）における科目合格の内容	第36回試験免除科目
A	「商品計画と商品予算」「仕入計画と在庫管理」「販売計画と管理」のうち、1科目以上について科目合格 (注)科目合格している科目が複数ある場合は、そのなかで最も高い科目合格点を、第36回試験における科目合格点とします。	・マーケティング
B	「経営とマーケティング」「市場調査と立地分析」「情報化」のうち、1科目以上について科目合格 (注)科目合格している科目が複数ある場合は、そのなかで最も高い科目合格点を、第36回試験における科目合格点とします。	・マーケティング
C	「経営計算」「組織と人事管理」のうち、1科目以上について科目合格 (注)2科目とも科目合格の場合は、より高い方の科目合格点を第36回試験における科目合格点とします。	・販売・経営管理
D	筆記試験8科目のうち、7科目を科目合格	・マーケティング ・マーケティング ・販売・経営管理 ・小売業の類型（※）
E	・面接試験	・面接試験

（※）この場合の免除科目（「小売業の類型」）の科目合格点は、パターンA～Cで適用した以外の科目合格のうち最も高い科目合格点を適用します。

（注）上記パターンA～Eの経過措置の適用を受けるためには、従来どおり受験申込時に「科目別合格証明書」が必要になります。ご受験された商工会議所・商工会連合会よりお渡ししている「科目別合格証明書」は再発行できませんので、大切に保管してください。

（注）ストアオペレーションは、必須受験科目となります。

【2級・3級免除科目】

各地商工会議所が開催する「2・3級販売士養成講習会」または日本商工会議所指定の通信教育機関（※）による「養成通信教育講座」を修了した方は、直後2回の販売士2・3級検定試験において、「販売・経営管理」科目が免除されます。ただし、**2・3級販売士養成講習会の場合には予備試験に合格した方、養成通信教育講座の場合には全課程を履修しスクーリングを修了した方に限ります。**「販売・経営管理」科目免除者の試験時間は2級160分・3級120分となります。

※日本商工会議所指定の通信教育機関：

社団法人 日本販売士協会	電話：03-3518-0191
社団法人 公開経営指導協会	電話：03-3542-0306
学校法人 産業能率大学	電話：03-3704-9111
社団法人 日本経営協会	電話：03-3403-6238

【3級免除科目】

①上記、2級・3級共通の免除科目

②全商協会主催による「商業経済検定試験」に合格した方は、下表のとおり筆記試験の一部の科目が免除されます。

パターン	全商協会商業経済検定合格科目	日商3級販売士免除科目
パターン1	・ビジネス基礎 ・マーケティング（2科目）	・マーケティング (1科目免除、試験時間は120分)
パターン2	・ビジネス基礎 ・マーケティング ・商品と流通、国際ビジネス、経済活動と法のいずれか1科目（3科目）	・マーケティング ・販売・経営管理 (2科目免除、試験時間は90分)

（注1）平成21年度に実施する第64回および第65回3級販売士検定試験において上記科目免除パターンを適用するためには、平成21年2月1日(日)実施の第23回商業経済検定試験において1科目以上合格科目があることが必須になります。

（注2）平成21年2月1日(日)実施の第23回商業経済検定試験において1科目以上合格科目があれば、それ以前の回の当該試験の合格科目と合わせて、上記科目免除パターンを適用することができます。